

fure - fure



高知県立大学 看護学部
Faculty of Nursing University of Kochi



U.K.
Faculty of Nursing
University of Kochi



各学年の大学生生活

■ 1 回生 ■



写真は、10月24日（土）・25日（日）に行われた大学祭で、1回生がチュロス販売を行った時の様子です。「チュロスはいかがですか？3種類の味があっおいしいですよ！」と、揚げたてのチュロスの甘い香りとともに、1回生のはつらつとした声が広がりました。背中にそれぞれの名前と学籍番号をあしらったお揃いのTシャツをつくり、模擬店を出店するにあたっては、品物の仕入れや管理など、準備もすべて自分たちで行いました。おいしく出来上がりますようにと、心を込めて調理し、みんなで協力した結果、チュロスは完売となりました。このほか、所属するサークルの模擬店や出し物にも参加をした学生もいました。出店にご協力いただいた方への感謝の気持ちを忘れてはいけないことも学び、初めての大学祭はおおいに盛り上がり、楽しい2日間を過ごしました。

■ 2 回生 ■



12月12日（土）、1回生から4回生と教員が参加し、2回生主催の看護学部伝統のクリスマス会が盛大に開催されました。今年のクリスマス会のテーマは「夢 次のステップへ」です。会では、それぞれの学年が力を合わせて楽しいスタンプを披露し、看護師・保健師・助産師の国家試験を受験する4回生に向けてエールを送りました。2回生は、白衣を着て歌を披露し、会場は温かい和やかな空気に包まれていました。クリスマス委員を中心として2回生は、3回生や4回生の先輩に相談しながら、企画や準備を進め会の運営をしていきました。皆が協力し、参加する人たちにとって、素敵な思い出となるよう広い体育館を飾り付け、楽しい時間が共有できるように会を進行しました。クリスマス会では笑いが絶えず、スタンプでは感動する場面が何度もありました。会終了後は、1回生が協力して会場を綺麗に片づけ、全学年のつながりを感じた時間でした。みんなが次のステップにつながるクリスマス会となりました。

■ 3 回生 ■



3回生は、現在、病院や地域で実習を行い、着実に看護の力を身につけています。このような中、自分の納得のいく進路選択と計画的な就職活動につなげることを目的に、「就職ガイダンス 自分が輝く場の選択への道」が行われました。初めに、高知県看護協会会長より「臨床看護の魅力と高知県の看護職を支える仕組みづくり」についてお話いただきました。その後、本学教員より就職活動への注意点や、本学大学院の研究コースの拡充により卒業後すぐの大学院進学が可能であることの説明、本学で今年度より開講した新卒訪問看護師育成事業の説明がされました。学生は、「全体的に自分の将来を考えるきっかけになった」と多様な選択肢がある中で、将来のキャリアデザインを視野に入れつつ、卒業後の進路選択を具体的に考える時期に来たことを実感しているようでした。

■ 4 回生 ■



4回生の今 ー国家試験受験に向けて全力を尽くしますー

4回生は、平成28年2月14日（日）に看護師、16日（火）に保健師、17日（水）に助産師の国家試験を受験します。国家試験に向けて、必要な書類の作成を12月2日（水）に行いました。書類を一字、一字、丁寧に書いていく中で、改めて、国家試験を受験するという大きな壁の前に立つ自分を自覚し、これから残った時間をどう過ごすことができるのか、深く考えました。模擬試験を受けながら毎日勉強に励み、自分の歩んできた時間と力を信じて、多くの専門的知識を修得できるように、毎日、問題集、参考書と格闘しています。問題集に書き込んだ文字と、付箋がふえるたびに、不安と自信が交錯します。友だちやご家族に支えられながら過ごした4年間も、まもなく集大成を迎えます。4月には、それぞれの道を歩む4回生ですが、全力で国家試験に臨みたいと思います。

保健師・助産師・看護師国家試験の
受験書類作成中



■ 大学院看護学研究科の紹介 看護学研究科長 藤田



高知県立大学大学院看護学研究科は、博士前期課程と博士後期課程、博士課程の3課程があります。各課程では、それぞれの領域に精通した高度な能力や技術を有する専門職業人の育成と健康生活に関わる課題を解決できる研究者の育成を目的とし、国内外の施設や機関と連携し実践的な教育と研究を行う環境を整えています。今回は、博士前期課程（修士課程）の紹介をします。

前期課程は、専門看護師コース・研究コース・実践リーダーコースがあります。「専門看護師コース」は、がん看護学、慢性看護学、クリティカルケア看護学、小児看護学、老人看護学、精神看護学、家族看護学、在宅看護学、地域看護学の9つの教育課程があります。卒業生は大学を卒業後、実践を通して自らの専門領域を見定めたくて、専門的で幅広い知識や技術をさらに学び、専門看護師として活躍することを目指して大学院に進学しています。現在、88名の修了生が専門看護師の認定試験に合格し、全国の保健医療機関で、高度な看護の専門性を発揮して、変革推進者として活躍しています。「研究コース」は、成人看護学(慢性期)、小児看護学、家族看護学、地域看護学、看護管理学の5領域があります。気になる現象を探究し、さらに看護学を深く広く学びたい学生さんが、看護学部を卒業後すぐに、進学できるコースです。実践経験を重ねた後に、進学することもできます。専門領域において新たな知識や技術の開発に貢献できる研究に取り組み、修了後は、国内外の大学をはじめ教育機関において教育研究者として看護学の発展に貢献しています。「実践リーダーコース」は、臨床看護学と地域保健学の2領域があり、働きながら学べるコースです。実践現場の問題を取り上げ、理論-実践-研究の関連性をふまえ、看護ケアの質向上に向けて研究能力を培い、修了後は実践の場のリーダーとして活躍しています。

このように、看護学部の学生さんは大学で看護学を学んだ後も看護専門職者として、患者さんやご家族、地域社会の健康課題の解決に向けてそれぞれの専門性を高めるために大学院に進学し、キャリアアップして、国内外の看護学の発展に貢献しています。

■ 看護学部の国際交流における活動

高知県立大学では、アメリカのエルムズ大学、カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校、インドネシア国立ガジャマダ大学、マレーシア国立サバ大学、ヴェネチア・カ・フォスカリ大学、文藻外語大学（台湾）、北京聯合大学旅游学院（中国）等の大学と国際交流協定を結び、学生の交流をしています。エルムズ大学には毎年、看護学部学生が短期研修に参加しています。今年は3回生がイタリアのフォスカリ大学への短期研修にも参加しました。今後は協定校への海外研修のサポートだけでなく、看護学部の教育でのグローバル化を進めたいと思っています。

国際交流委員 川上理子

3回生 松井琴乃さん

2015年9月14日からの約10日間、イタリア研修に参加しました。ヴェネチアでは美しい街を散策したり、大学の授業に参加し、イタリアの学生と交流をしました。また、印象的であったのは、元修道院を改装した福祉施設の見学です。ヴェネチア唯一の病院であり、訪問介護の派遣や若者のいじめ、性の問題の相談を受けるなど様々な役割を担っている施設です。助産師や心理学者が相談を受けており、若者へのサポートの体制が見られました。研修では他にもフィレンツェやローマなど様々な都市を回り、異文化に触れることでそこに住む人の暮らしかを感じることができ、自分の足でその土地へ赴くことで得られるものがあると学びました。この経験を今後の勉学に役立てていきたいと思っています。

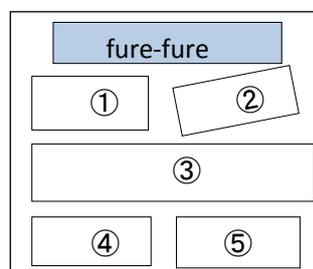


ことができ、自分の足でその土地へ赴くことで得られるものがあると学びました。この経験を今後の勉学に役立てていきたいと思っています。

2回生 和田桃佳さん

2016年2月から、アメリカのエルムズ大学への短期留学に参加させていただくことになりました。国際化が急速に進む現在の社会で、英会話の力や、狭い考えにとらわれない広い視野が必要だと考えるようになり、参加を希望しました。いまは、留学に向けて基本的な単語や日常会話などを勉強しており、新しい世界への不安と期待にわくわくしています。留学先では、たくさんの友達をつくりコミュニケーションをとって、多くのことを吸収してきます。将来は、その経験を活かして活躍できる看護師になりたいと思っています。

■ 表紙の写真



- ①フィジカルアセスメントⅡ演習:1回生
- ②大学祭:2回生
- ③クリスマス会:4回生
- ④在宅看護実習:4回生
- ⑤領域実習前感染予防講義:3回生



地域とのつながり



■**域学共生スタート**■ 今年度から「域学共生」のカリキュラムが始まりました。看護学部1回生は社会福祉学部・健康栄養学部・文化学部1回生とともに地域課題を学ぶ意義などを「地域学概論」で学んだあと、「地域学実習Ⅰ」では24課題に分かれ、他学部の学生さんと共同で高知県各地それぞれの課題に取り組みました。例えば、地域を住民と回り、減災・防災に生かすハザードマップ作成、道の駅や直販所の設置を検討している地域に地域文化の発信拠点として工夫などの情報提供、伝統野菜の「田村蕪」による地域活性化を図っている生産者との交流などの体験をし、学生たちは「新鮮で楽しい実習になり、地域の課題や良いところを見つけることができた」「今後も積極的に地域の活動に参加し、地域で活動している方々の意思や行動力を受け継ぎたい」などと多くのことを学びました。実習後学生は地域学実習報告会（3月19日）に向けて、ポスター制作に取り組んでいます。



■**「第14回赤ちゃん同窓会」へボランティアとして参加**■ 11月7日（土）に開催された「第14回赤ちゃん同窓会」へ、前日までの準備として飾り付けの作成に看護学科1～2回生22名が、当日は、1～4回生25名、大学院生3名、教員3名がボランティアとして参加しました。この会は新生児集中治療室を退院されたお子様やご家族が集い、手記発表、交流会、お楽しみ会を行うもので、高知医療センターと高知県立大学が協働して年1回開催しています。当日は、学生が保育室の飾り付けを行い、お楽しみ会では、アンパンマン体操を踊り、お子様やご家族も笑顔で一緒に踊っていただきました。参加した学生のみなさんからは、“お母さんの手記発表を聞かせていただき、気持ちがわかりとても良かった”、“看護師さんとご家族の様子から、良いケアをしていると、このような関係性が築けると感じた”、“去年この会でお会いした子どもさんが成長しているのを見ることができて嬉しかった”などの感想が聞かれました。



■**「みさとフェア」へボランティアとして参加**■ 11月22日（日）に三里小学校で第7回みさとフェアが開催され、1回生2名、2回生5名がボランティアとして参加しました。フェアには、三里地域の住民の方々に健康について関心を持っていただくために高知医療センターと大学が協働し参加しています。学生さんは、「子どもワクワクコーナー」のなかで、子どもたちが実際に聴診器を使って自分の心臓の音を聞いたり、脈に触れることができるようサポートを行いました。その他に血圧、肺活量等の測定や絵本の読み聞かせ、高知・食育かるたを行い、子どもたちが楽しみながら、自分の健康に興味・関心を持てるように関わりました。参加した学生さんからは、「健康を通して、地域の方や子どもたちと話ができ楽しかった」「子ども、大人にかかわらず自分の健康に興味や関心があるのだと感じた」等の言葉が聞かれ、地域の方々の健康についてふれる体験となりました。

サークルの紹介

■**IS園芸部**■ IS園芸部のISは“Ike Students”の略です。活動は主に2つあり、1つ目は校内における草花の栽培管理です。今年はガザニア、ヒガンバナ、パンジーなどを植えました。作業としては水やりや除草などです。2つ目は野菜の栽培です。今年はナス、トマト、ジャガイモ、大根を作りました。鳥や虫に食べられる物もありましたが、無事収穫できおいしく頂くことができました。今年（2015年）結成したばかりなので部員のほとんどが農作業の経験がなく、初めはぎこちない手つきでしたが、少しずつ慣れてきました。講義や実習の合間の活動は、とても良い気分転換になります。これから活動の幅を広げ、学内や地域に貢献できる活動に育てていきたいと思っています。

3回生 稲田諭



■**FC.SOPHIA**■ 私たちフットサルサークルFC.SOPHIAは週3回放課後に池キャンパスの体育館で練習しています。池キャンパスの学生だけでなく、永国寺キャンパスの学生も多く所属しています。女子はほとんどが初心者ですが、緊張感を持ちつつも楽しく練習しています。今季、女子は女子リーグで優勝、男子は一部リーグ昇格が決まりました。今後もインカレやリーグ戦だけではなく、ファミリーフットサルや国際交流サッカーなど地域のイベントにも参加をし、地域から応援されるチームになっていきたいです。

2回生 岡崎都佳

[ニュースレターの名前の意味]fure-fure 学生さんを応援する気持ちを込めて、学生さんが、誰かを応援できるようになる願いを込めて、この名前を付けました。

ご意見、ご感想など、お寄せ下さい。 fure-fure-kango@cc.u-kochi.ac.jp